

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	実習前演習Ⅰ(CBT)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期	前期	教室名	901教室
担 当 教 員	永吉 啓吾				
実務経験と その関連資格	理学療法士として一般病院に勤務。認定理学療法士(学校教育)取得。整形外科クリニック、訪問リハにも従事している。				
《授業科目における学習内容》					
評価実習に行くにあたっての実習前判定試験に対する演習。理学療法を行う上で基礎となる臨床医学(運動器・中枢・内部障害疾患)を国家試験過去問レベルで解けるようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
実習前判定試験(CBT)50% 小テスト50%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「クエスチョンバンク共通」(MEDIC MEDIA) 「クエスチョンバンク専門」(MEDIC MEDIA)					
《授業外における学習方法》					
映像授業をteamsに掲載しています。予習・復習に活用して下さい。					
《履修に当たっての留意点》					
①主体的に取り組んで下さい ②実習に行くにあたっての基礎知識です。しっかり身につけましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	運動器(骨折)	配布プリント	特になし	
	各コマにおける授業予定	運動器の国家試験過去問を解ける			
第2回	授業を通じての到達目標	運動器(神経損傷・骨端症)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	運動器の国家試験過去問を解ける			
第3回	授業を通じての到達目標	運動器(整形外科テスト)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	運動器の国家試験過去問を解ける			
第4回	授業を通じての到達目標	神経内科(高次脳機能障害)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	神経内科学の国家試験過去問を解ける			
第5回	授業を通じての到達目標	神経内科(脳卒中)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	神経内科学の国家試験過去問を解ける			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	神経内科(神経筋疾患)	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	神経内科学の国家試験過去問を解ける		
第 7 回	授業を通じての到達目標	神経内科(神経筋疾患・認知症)	配布プリント	前回の復習
	各コマにおける授業予定	神経内科学の国家試験過去問を解ける		
第 8 回	授業を通じての到達目標	内科学(膠原病)	配布プリント	特になし
	各コマにおける授業予定	内科学の国家試験過去問を解ける		
第 9 回	授業を通じての到達目標	内科学(換気障害)	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	内科学の国家試験過去問を解ける		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	内科学(心電図)	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	内科学の国家試験過去問を解ける		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	内科学(虚血性心疾患・心不全)	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	内科学の国家試験過去問を解ける		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	内科学(消化器)	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	内科学の国家試験過去問を解ける		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	内科学(糖尿病)	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	内科学の国家試験過去問を解ける		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	内科学(内分泌)	配布プリント	前回の復習
	各コマにおける授業予定	内科学の国家試験過去問を解ける		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	まとめ	配布プリント	特になし
	各コマにおける授業予定	まとめ、振り返り		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	実習前演習Ⅰ(CBT)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期	前期	教室名	901教室
担 当 教 員	永吉 啓吾				
実務経験と その関連資格	理学療法士として一般病院に勤務。認定理学療法士(学校教育)取得。整形外科クリニック、訪問リハにも従事している。				
《授業科目における学習内容》					
評価実習に行くにあたっての実習前判定試験に対する演習。理学療法を行う上で基礎となる臨床医学(運動器・中枢・内部障害疾患)を国家試験過去問レベルで解けるようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
実習前判定試験(CBT)50% 小テスト50%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「クエスチョンバンク共通」(MEDIC MEDIA) 「クエスチョンバンク専門」(MEDIC MEDIA)					
《授業外における学習方法》					
映像授業をteamsに掲載しています。予習・復習に活用して下さい。					
《履修に当たっての留意点》					
①主体的に取り組んで下さい ②実習に行くにあたっての基礎知識です。しっかり身につけましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	運動器(骨折)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	運動器の国家試験過去問を解ける			
第17回	授業を通じての到達目標	運動器(神経損傷・骨端症)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	運動器の国家試験過去問を解ける			
第18回	授業を通じての到達目標	運動器(整形外科テスト)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	運動器の国家試験過去問を解ける			
第19回	授業を通じての到達目標	神経内科(高次脳機能障害)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	神経内科学の国家試験過去問を解ける			
第20回	授業を通じての到達目標	神経内科(高次脳機能障害)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	神経内科学の国家試験過去問を解ける			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 2 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 3 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 6 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 7 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 8 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 3 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			